**実用的なケース検討を阻害するいくつかの事情**

作成　2022年12月5日（和泉屋与兵衛）

**１　ちょっと心配なケース検討会**

|  |  |
| --- | --- |
| ① 発表者以外、ほぼ誰も語らないまま、検討会が終わる。 | □はい　□いいえ |
| ② 意見や質問をすると仕返しを心配する。 | □はい　□いいえ |
| ③ 発表者や参加者が情報を小出しにする。 | □はい　□いいえ |
| ④ あまり質問や意見がなく、黙っている時間がある。 | □はい　□いいえ |
| ⑤ 言いっ放し、聞きっぱなしが多い。 | □はい　□いいえ |
| ⑥ 資料の体裁や字句の使い方をやたらに気にする。 | □はい　□いいえ |
| ⑦ 職階上位の人の意見が優先される。 | □はい　□いいえ |
| ⑧ 職員の人間関係が意見交換に反映される。 | □はい　□いいえ |
| ⑨ 検討会で得た結論の吟味がされていない。 | □はい　□いいえ |
| ⑩ 終了後や休憩中、トイレで意見交換をする。 | □はい　□いいえ |
| 1. 最初に意見を言うのは、いつも決まった人だ。 | □はい　□いいえ |
| ⑫ 検討会の発表者を引き受けるのに勇気が必要だ。 | □はい　□いいえ |
| ⑬ 言ってはならないこと、触れてはならないことがある。 | □はい　□いいえ |
| 1. 検討会の時間が限られて、途中で終わることがある。 | □はい　□いいえ |
| 1. スーパーバイズと嫌味の違いがわからない。 | □はい　□いいえ |
| 1. 恥ずかしいので「わからない」と言えない。 | □はい　□いいえ |
| 1. 「私だけが知っている」というエピソードが好きだ。 | □はい　□いいえ |

**２　ケース検討会の正しい議論**

|  |  |
| --- | --- |
| ① 出席者は、情報共有に心がけている。 | □はい　□いいえ |
| 1. 検討会の目標が明確になっている。 | □はい　□いいえ |
| 1. 目標や予測（仮説）は事実に連続している。 | □はい　□いいえ |
| ④ 参加者全員が検討会を有意義なことと感じている。 | □はい　□いいえ |

**３　有意義な個別支援計画・ケース検討**

|  |  |
| --- | --- |
| ① 利用者の主体性を尊重し、代弁をしている。 | □はい　□いいえ |
| ② 支援計画の目標は具体的で明確な言葉で表現されている。 | □はい　□いいえ |
| ③ 支援計画の実施方法は具体的で誰でもわかる。 | □はい　□いいえ |
| ④ 時々、支援計画の目標の達成段階を点検している。 | □はい　□いいえ |
| ⑤ 支援計画は、目標を含め妥当な範囲で変更できる。 | □はい　□いいえ |
| ⑥ 支援計画と目標は、スタッフ全員で共有している。 | □はい　□いいえ |
| ⑦ 支援計画と目標でわからないことは何もない。 | □はい　□いいえ |